

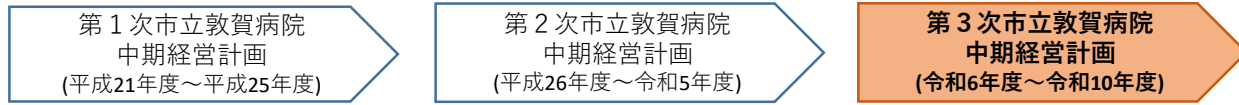
第3次市立敦賀病院中期経営計画【概要版】1/2

中期経営計画とは

1 中期経営計画の概要

「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン（総務省）」に基づく「公立病院経営強化プラン」の位置づけとして、現在の第2次中期経営計画に引き続き、第3次中期経営計画を策定する。

2 計画期間 令和6年度（2024年度）から令和10年度（2029年度）までの5年間



第2次中期経営計画の達成状況

1 計画期間中の主な取組

◆人材の確保・育成

- ・医師の増加 **42名→62名**
(内科、乳腺外科、小児科、病理、総合診療)
- ・認定看護師の育成 **7名→12名**
- ・ソーシャルワーカーの増員 **2名→6名**
- ・人事考課制度(目標管理制度)の導入
- ・院内保育所の定員拡大

◆医療機能の充実と情報発信

- ・新型コロナウイルス感染症に対する診療の実施
(発熱外来、PCR検査、入院治療、入院コーディネートセンター派遣)
- ・電子カルテシステムの更新

◆収入増加と経費削減の取組

- ・重症度、医療・看護必要度分析ソフトの導入
- ・一般不妊治療管理料の新規算定
- ・病理診断管理加算の新規算定
- ・がん拠点病院加算の新規算定
- ・駐車場料金の見直し
- ・費用削減コンサルティングの導入
- ・経営分析ソフトの導入
- ・未集金回収業務委託範囲の拡大



平成22年度から13年連続で黒字経営を継続

市民の当院に対する評価、ニーズ

1 市民アンケートの実施

期間：令和5年9～10月
対象：20～79歳の市民に郵送で送付・回答
回答：347人／1000人

2 アンケート結果の概要

(1) 当院に対するイメージ

Q. あなたもしくは知り合いの方が当院で診療を受けた理由を選んでください

⇒ A. 医療に関する評判が良いから

① と思う、まあ思う

令和2：35.4% → 令和5：39.6% (↑4.2)

② あまりそう思わない、そう思わない

令和2：19.2% → 令和5：22.8% (↓3.6)

(2) 当院に対する医療ニーズ

Q. 当院にどのような医療体制を求めますか？

① 救急医療体制 **69.1%**

② 高度・先進医療体制 **52.3%**

③ 幅広い診療科の設置 **33.6%**

④ 人間ドック等の健診体制 **18.7%**

第8次医療計画に基づき当院が今後果たすべき役割

1 5疾病6事業に関する医療提供

◆5疾病（がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患）

- ・地域がん診療連携拠点病院として診療実績を増加させるとともにがん患者の支援体制を整備する。
- ・福井県統一の急性心筋梗塞、狭心症地域連携パスの利用を促進し、地域医療連携を強化する。
- ・糖尿病患者への初期・安定期治療、強化治療、慢性合併症治療を提供する。

◆6事業（救急医療、災害時医療、新興感染症発生・まん延時における医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）

- ・入院治療を必要とする重症な救急患者に対する二次医療を提供する。
- ・被災患者の受入れ・診療、被災地への医療支援等を行う災害拠点病院としての医療を提供する。
- ・第二種感染症指定医療機関として、新興感染症への対応を行う。

2 役割・機能の最適化と連携の強化

(1) 役割・機能の見直し

医療計画・地域医療構想を踏まえた役割・機能		指標	令和4実績	令和10計画
救急医療、災害時医療の充実	・二次救急病院、災害拠点病院等として必要な体制を整備 ・救急医療の24時間体制維持 ・DMATの隊員養成、技能向上	救急車受入件数	2,274件	2,500件
医療の質、医療安全の推進	・全職員対象の医療安全大会の開催 ・全職員対象の感染対策講習会の開催 ・病院機能評価の活用による病院機能の改善 ・チーム医療の推進（ICT,AST,NST,褥瘡等）	クリティカルパス適用率	45.6%	50.0%
患者サービスの向上	・患者アンケートの実施による満足度の分析 ・CS部会の開催による満足度向上 ・病院ボランティアの協力による外来患者のサポート	患者相談件数	3,343件	3,700件

地域包括ケアシステムに向けた役割・機能

「地域包括ケア」体制の強化	・県、市町、医療・福祉・介護の関係機関との連携強化 ・地域包括ケア病棟への直接入院など病棟の効率的・効果的な活用
---------------	---

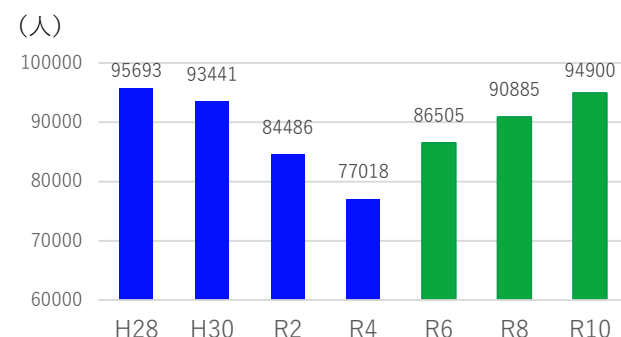
(2) 機能分化・連携強化

		指標	令和4実績	令和10計画
機能分化	・地域医療連携推進法人制度の活用を検討 ・医療ニーズが高い患者の在宅療養を支援する訪問看護の実施	訪問看護件数	746件	1,000件
連携強化	・地域がん診療連携拠点の指定継続 ・開放型病床の周知及び利用増加 ・地域連携クリティカルパスの新規作成 ・紹介受診重点医療機関の取得を検討	紹介率	29.2%	50.0%
		逆紹介率	43.5%	40.0%

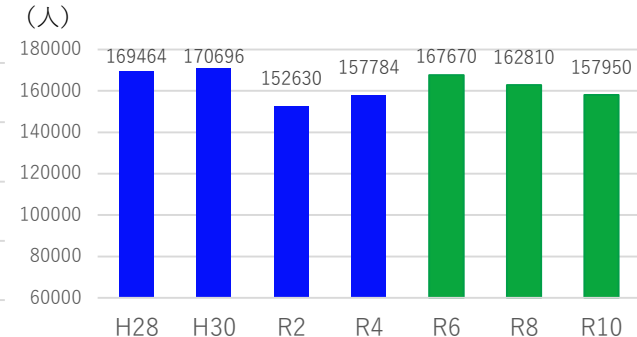
第3次市立敦賀病院中期経営計画【概要版】2/2

患者数と収支計画

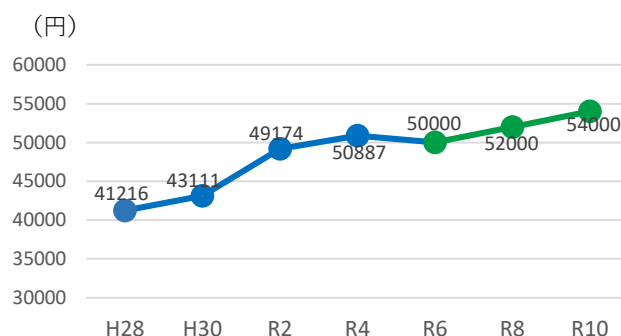
入院患者数



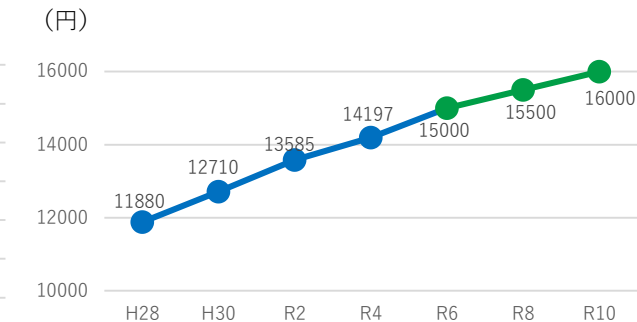
外来患者数



入院単価



外来単価



収支計画

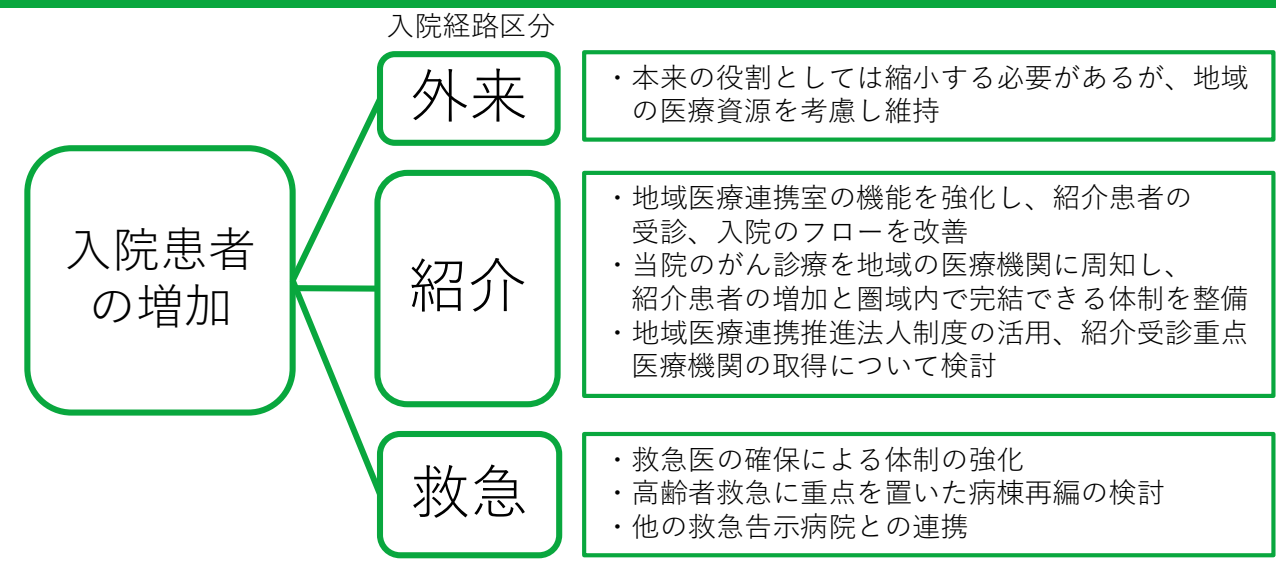
		令和2実績	令和4実績	令和5見込	令和6計画	令和8計画	令和10計画
収益的収支	収益	8,506	8,246	7,789	8,469	9,013	9,381
	費用	7,953	8,177	8,772	9,073	9,178	9,289
	経常損益	553	69	△983	△604	△165	92

経営指標 (令和10年度数値目標)

診療報酬の改定状況や診療圏の患者数が横ばいであることから、経営環境は厳しさを増すことが見込まれる中、経常収支比率100%以上を目標とし、健全経営を行うことを最重点指標とする。

- ① 経常収支比率 **101.0%**
- ② 医業収支比率 **95.7%**
- ③ 職員給与費対医業収益比率 **56.6%**
- ④ 病床利用率 **78.3%**
- ⑤ 患者1人1日あたり収入 **入院 54,000円
外来 16,000円**
- ⑥ 材料比率 **22.5%**

入院患者の増加に向けた取組



目標達成に向けたその他の取組

◆DPC請求病院として効率的・効果的な医療の提供

- ・機能評価係数Ⅱにおける評価の向上を図る。

◆手術体制の強化

- ・業務内容の分析を行い、手術体制の効率化と手術数の増加を図る。
- ・専門化、細分化に伴う資格取得等に向けた研修体制を整備する。

◆新規施設基準等の取得

- ・現在、院内プロジェクトチームを設置し、令和6年度の診療報酬改定に向けて対応を進めている。
- ・診療報酬改定の今後の方向性を分析・検討し、新規施設基準や加算等の取得を継続する。

◆自費診療、ドック利用の推進

- ・院内プロジェクトチームを設置し、ドック利用を推進する。
- ・新たなオプション検査の導入及び見直しを図る。
- ・新たな自費診療の導入及び見直しを図る。

◆経営形態の見直し

- ・当面の間、現在の経営形態を維持する。
- ・地域医療連携推進法人制度の活用及び他医療機関との合併を含めた新たな経営形態の可能性について検討する。

◆働き方改革への対応

- ・勤怠管理のIT化による適正な労務管理を行う。
- ・効果的なタスクシフト・タスクシェアを実現する。

◆DXの推進

- ・患者の利便性向上と職員の負担軽減に資するデジタル化への対応を推進する。

◆新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組

- ・第二種感染症指定医療機関として、発熱外来の設置、検査の実施

今後の患者数の動向や診療報酬の改定内容を精査し、病床の在り方について検討する。

中期経営計画の着実な推進

1 院内における達成状況の確認

- ・病院の年次目標、部署目標を設定し、全職員が業績考課を行う。
- ・部長会、管理運営・診療委員会等により、病院の運営状況について分析を行う。
- ・病院の経営状況及び運営方針を職員へ周知するため「経営状況説明会」を開催する。

2 点検評価委員会における点検・評価

- ・外部委員を含めた「点検・評価委員会」を設置し計画の実施状況を評価する。

3 計画の見直し

- ・年1回以上点検・評価委員会を開催し、計画の達成状況、計画の見直しについて評価を受ける。
- ・計画を修正する場合は委員会に諮り、必要な助言をいただき承認を得て修正する。